「安定」

～内的？外的？～

ヤコブ１：２－１６

私たちが求める安定とは

あなたの求める安定はなんですか？という問いに、多くの人が経済的な安定、家族や職場などの人間関係の安定、心の安定などを答え、約９割の方が外的要因に安定を求めていることがわかりました。確かに、この地で生きていれば物質的、環境的安定を求めることは当然のことといえます。しかし、私たちが真の安定を手に入れるには神様によってしか得ることができません。
聖書には良い地に蒔かれた種と岩地や茨に落ちた種、砂の上に立った家と岩の上に立った家などの例えがあり、これは安定と不安定について書かれたものといえます。あなたの状況はどちらでしょうか。そしてもし今あなたの現状が不安定ならば、安定するためにどのようにしたらよいのでしょうか？これから、私たちの真の安定を手に入れるために、どう歩んだらよいかを学んでいきましょう。

日々、神様を感じていますか？

ノアの箱舟の場面神様との約束の「虹」が出てきます。あなたには虹は何色に見えているでしょうか？虹は完全数の７色と言われることもあれば、３色、５色という人もいます。しかしこの虹は実際には光の反射により無限の色が存在しており、人の目に見える数で判断することはできません。これと同じように、私たちは日常生活で自分の目に見える状況のことだけで物事を判断していることが意外と多いのではないでしょうか。そんなとき確認したいのは、あなたが日々神様を感じているかどうかです。最近、神様が創造されたものをみて神様を感じましたか。神様が創られたものに触れることはあなたの肉体と心を癒し、内側をリフレッシュさせます。輝く日を仰ぐときという聖歌がありますが、日々の中で神様を感じていくことが私たちには不可欠で、それにより私たちは安定を得ることができるのです。

①外からの影響を断ち切る

先週のメッセージであなたは製品ではなくオンリーワンの神様の作品であることが語られ、一人ひとりに役割があり比較競争する必要はないことを知りました。しかし、私たちは自分が不安定な状況にあるとき、これはあの人のせいだ、この環境のせいだと外的な要因のせいにしてしまいます。そのように外的要因に影響を受けることをやめ、もし外的要因が不安定な状況にあるのなら、それを安定させるためにどうしたら自分が何をすべきなのかを考えていきましょう。
もしあなたを不安定にさせる人が近くにいるならば、その人はあなたにとってのベストパートナーです。相手と向き合い自分と向き合い切磋琢磨することで、その場所は必ず良くなります。なぜなら、神様があなたを先に選びその場所へ遣わされたからです。時に辛いこともあるでしょうが、そのような時あなたのために神様は教会を用意してくださり、共に祈る教会の家族を与えて下さっているのですから、外からの影響を断ち切り神様からの安定を選び取りましょう。

②内側で神と繋がる

私たちの内側が安定することは、人がうつ病から戻るための方法とよく似ています。「こころの処方箋」を書いた臨床心理学者の河合隼雄先生は人がうつ病から立ち直るための最大の方法として「１将来に対して希望を持つこと」「２自分よりも偉大な存在と繋がって安心すること」を挙げられました。私たちは人にはどうしようもできないことができる方と繋がることが大事です。その方は私たちが何かをしないと応えてくれない世の神々とは違い、ただ私たちを愛し、私たちに将来と希望を与えてくださる真の神です。そのことを信じて疑わず、神に祈り繋がりましょう。

③罪から離れる　神の時

人生にはいろいろなことがあります。伝道者の書３：１に書いてあるとおり『すべての営みには時がある』のです。あなたが今この地でこの環境の中で生きているのは、すべて神様の時だからです。今もしかすると、うまくいかない現実が目の前にあってどうしようもない状況のなかにいる人もいるでしょう。しかし、あなたが今そこにいるのは、良くなる時が来るためです。もちろんそのためには戦いがあります。聖書の言葉を実現させるにはその時を信じて戦わなければいけません。もしも今逃げたい現実があるならば、逃げずに向き合いましょう。すべては将来あなたを通してそこが良くなるためです。そのために今は内側を整え、競争をやめて神様に向きましょう。神様は早くあなたがそこを抜け出してほしいと願っておられ、その方法を与えて下さっています。神様に繋がり、知恵を得ていきましょう。

私たちがしていくこと～知恵を得るために～

知識と知恵の違いは何でしょうか。知識とは経験や過去からのことを指し、聖書のことばはすべて過去の言葉なので知識の言葉(ロゴス)と言われています。それに対し知恵(レーマ)は、その知識の言葉を私たちの心に種をまき、問題が起こった時に神様に祈る時、同じ聖書の言葉によって与えられるものといえます。では、あなたは聖書のみことばをいくつ覚えているでしょうか。よく聖書を読み親しみなさいと言われますが、それはあなたがクリスチャンだからという理由ではありません。みことばを読み、自分のうちに蓄える理由は、神様は私たちの将来を知っておられる方なので、私たちのこれから起こるであろう事をみことばによって示してくださるからです。
私たちは誘惑に遭いそうになる時に、(※私たちを創られた方はあなたのことをよく知っているので試す必要がありません！）今までの経験、知識によって判断し回避しようとする欲が生まれます。しかし、神様はその時その時のベストを用意してくださっており、その方法はいつも同じとは限りません。ですから、私たちは知識からではなく、いつも知恵によって神様と共にその問題を乗り越えていく必要があるのです。
知恵を得るために、聖書を読み、あなたのうちにみことばをしっかりと根付かせていきましょう。
また、あなたはいつの間にか頑張るクリスチャンになっていないでしょうか。頑張って知らず知らずのうちに自分自身を傷つけていないでしょうか。聖書にはあなたに頑張れとは一言も書いておらず、ただ信じて素直な心で神様に聴くことを言われています。そのためには知恵が必要です。あなたのこれからが安定した歩みとなるよう知恵を求めて祈っていきましょう。そして、希望を持って偉大な神様と繋がっていきましょう。

(要約者:平澤　瞳)

(９月４日)